

石を磨いて清流化

一関・大東
砂鉄川 学生、住民ら交流

一関市大東町の下内(長)が主催する第17回
野自治会(勝部欣一会)石磨き大会は8日、同



砂鉄川の環境保全を願い、石を磨く日本大生物資源科学部の学生ら

町下内野地区の砂鉄川で開かれた。共催する日本大生物資源科学部の学生や、地域住民、一般参加者ら約130人が、石磨きを通じ交流。河川環境の保存へ意欲を新たにしたい。

石磨きは、石に付着した有機物をこすり落とし、石の下に酸素を送り込むことで清流化につなげる作業。参加者は古縄を丸めたたわしで、川の石を丁寧な磨いた。2回目の参加となる同大4年の久保佑太さんは「自然との触れ合いが素晴らしいし、勉強になる」と

夢中で取り組んでい
た。水生生物の生息調
査、水質調査が行われ、
イワナのつかみ捕りで

は子どもたちの歓声が
山里に響いた。

同自治会は6月の
「第30回全国豊かな海
づくり大会」で長良

川大会」の環境大臣特
別賞を受賞。地域を挙
げた河川の保全活動
が、海の環境保全に寄
与したと評価された。

勝部会長は「これから
は山、川だけでなく海
とのつながりを意識し
て活動を広げていき
たい」と語る。